

町内探検隊



「船着場跡」



「高札所跡」

歴史を見つめ直す道。
車はもちろん自転車でも見過ごしてしまいそうな小道。その名は、岡崎～西尾街道、幅員1.5メートルの古道は昔「往來の多い道で、馬に乗った武士も通った」と伝えられます。現在一部整備が進み、小学校跡、船着場跡など案内石碑が建っています。この道沿いには、「三河国門徒兵乱記」にも書かれている身代わり円光寺順正の墓もあり、桜井の歴史を学ぶにはうってつけの小道です。
平成13年ごろから、地元有志の皆さんが、整備事業に取り組み、現在写真のとおりです。ここを歩くと、東に山並みを望み、道沿いにはさまざまな遺跡があり、この地域の古の姿に思いをはせることが

できます。
※桜井地区には、現在国・県・市指定の文化財が100、代表的なものには国の重要文化財「本證寺の聖徳太子絵伝」があります。桜井の歴史を学ぶのは一歩として、一度歩いてみてはいかがでしょうか。



今月の探検隊員
都築秀行さん



わたしの望遠郷

岐阜県加茂郡八百津町



私の故郷は美しい山に囲まれ雄大な木曾川の上流に位置する岐阜県加茂郡八百津町です。

「ふるさとの山に向かい言ふことなしふるさとの山はありがたきかな」という石川啄木の歌があります。四季折々の豊かな自然あふれる山里で育った私には故郷を思うこの歌の意味が、しみじみと分かります。

私の実家の裏には竹林と栗林があり山道につながっています。春は筍(たけのこ)掘りに山菜採り。秋には栗拾いに松茸狩りが楽しめます。裏山の風景は私の幼いころから何一つ変わっていま

せん。猪(いのしし)が山から来る事もしばしばあり母が「畑が荒らされる」とよくこぼしています。

また数々の古い風習が現在でも受け継がれており、その一つに念仏講があります。年に数回隣近所の人が集まり、念仏を唱えた後に話し合いをする寄り合いなのですが、その当番になった家は夕方庭先で鉄の鍋のような鐘をカーンカーンと鳴らします。今夜は念仏講がありますと近所に知らせを送るのです。連絡はメールの現代に何とも趣き深い情景です。

八百津の名産栗金糖(店によっては栗きんとんとも)は、栗金糖の聖地である?中津川市に負けず劣らずの絶品です。ぜひ一度ご賞味ください。

市岡 悦子さん(南町)



五宝滝(ちょっと珍しい三段の滝)



杉原千畝記念館(命のビザで有名な杉原千畝氏は八百津町出身です。)

元気っ子アルバム



三浦優奈ちゃん(11か月)

はじめまして優奈です。将来ケーキ屋さんになるため、今からママに教えてもらい修行中です。がんばるぞー!!
お父さん：善嗣さん
お母さん：めぐみさん(和泉町)

加藤瑳優ちゃん(5歳)
たかあき 鳳晃くん(2歳)
るか 瑠華ちゃん(8か月)



末っ子の瑠華です。お姉ちゃんとお兄ちゃんがかわいがってくれて幸せ。春から3人一緒に保育園に通うのが楽しみです。
お父さん：政司さん
お母さん：夕子さん(高棚町)

たぐちゆうま 田口悠真くん(10か月)



こんにちは悠真です。ぼくは絵本が大好き。最近おしゃべりを覚えたよ。早くパパママとお話ができるようになりたいです。
お父さん：亮さん
お母さん：有香さん(東新町)

「わたしの望遠郷」「元気っ子アルバム」コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。
わたしの望遠郷▶皆さんの出身地を紹介 元気っ子アルバム▶皆さんのお子さんを紹介
申し込み方法など詳しくは、電話で秘書課広報広聴係へ(☎71)2202)。

スクールナビ

安城中部小学校

今年度、100周年を迎えた安城中部小学校。大きな節目にあたる年の記念として、児童は、学校や地域の歴史を振り返り、発表会を行ないました。今回は、学習したことをもとに、劇を作って学芸会で発表した5年生の代表3人を訪ねました。

『劇は45分。卒業生や地域の人たちに取材をして、100年分の歴史をまとめました。戦争のことや伊勢湾台風のこと。当時

の給食や遊び。校歌ができた時の話。その昔、講堂には美空ひばりさんが来たこともあったとか。たくさんの情報の中から伝えたいことをグループで話し合った後、台本作りにとりかかりました。セリフやナレーションなど作ったこともなかったので、一から考えるのはとても大変。でも、発表を見た人に中部小学校のことが伝わるようにがんばって作り上げました。劇を見た

卒業生から「昔のことを思い出してなつかしかったよ」との感想をもらい、うれしく思いました。この学習と発表を通じて、地域の人と触れ合い、歴史を伝えることができたようです。

そして、101回生となる彼らは「わたしたちは今までの中部小のよき伝統を引き継ぎ、これからの新しい中部小を作っていきたいと思います」と、誇らしげに誓いの言葉を宣言しました。



学芸会での一幕
(駄菓子屋さんを再現)



地域の人に取材



インタビューに答えてくれた、左から杉山くん、福井くん、大久保さん